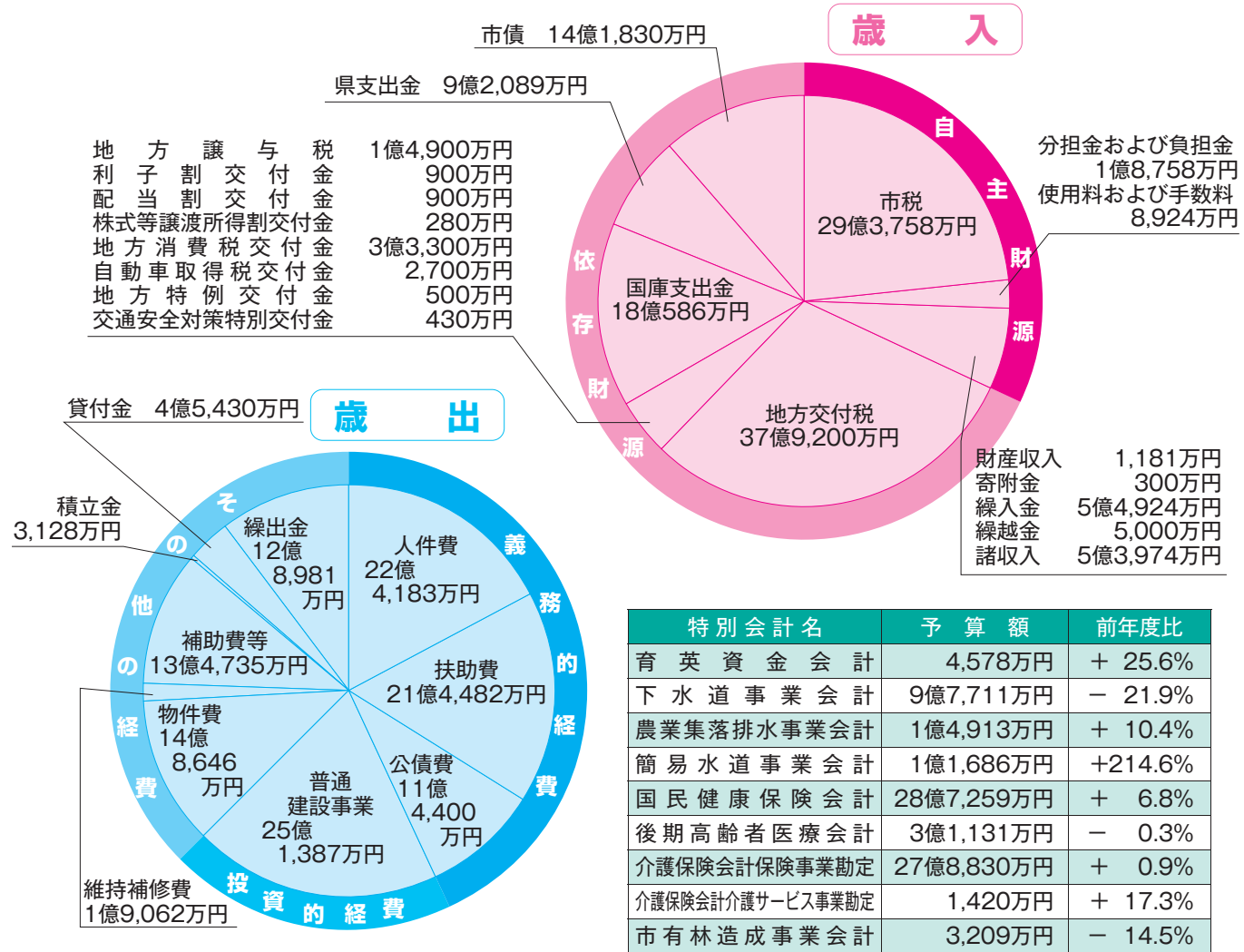


平成26年度 勝山市当初予算 決まる

予算総額 208億4,840万円

一般会計 128億4,434万円
特別会計 73億 737万円
企業会計 6億9,669万円

—いいまちづくりに向けて、経済再生を推進し地域力・産業力アップを図る—
市民の思いをまとめ「いかにいいまちをつくるか」をテーマに、国の強力な経済再生戦略を活用し、希望ある未来を構築するための積極型予算を編成。



勝山さんちの家計簿

例えば年収を300万
(月収25万円)とすると…

収入

平成26年度予算 (一般会計性質別内訳)	1か月の家計に例えると
市税などの自主財源 43億6,819万円	給料・パート収入 25万円
地方交付税、国・県支出金等 70億5,785万円	両親からの援助など 40万3,900円
市債発行 14億1,830万円	各種ローンの借入 8万1,100円
収入計 128億4,434万円	収入計 73万5,000円

支出

平成26年度予算 (一般会計性質別内訳)	1か月の家計に例えると
繰出金・補助費・出資金・貸付金 など 30億9,146万円	子どもへの仕送り・各種会費 など 17万6,900円
人件費 22億4,183万円	食費 12万8,300円
扶助費 21億4,482万円	医療費 12万2,700円
普通建設事業・維持補修費 27億449万円	車の購入・自宅の増改築・修繕費 15万4,800円
公債費 11億4,400万円	ローン返済 6万5,500円
物件費 14億8,646万円	光熱水費・被服費等 8万5,000円
積立金 3,128万円	新たな預貯金 1,800円
支出計 128億4,434万円	支出計 73万5,000円



小さくてもキラリと光る
誇りと活力に満ちた
ふるさと勝山の実現

一般会計予算総額は過去最大規模に
国の補正予算を最大限活用し、平成25年度3月補正予算として前倒しした公共事業費(約7億5100万円)を加えた予算額は、約135億9500万円(前年度比約9億1800万円、7.2%の増)で、過去最大であった平成9年度当初予算を上回る過去最大規模となりました。
各特別会計と上水道企業会計を含めた予算総額は、208億4840万円、前年度比7.6%の増(14億6410万円の増)となりました。

**消費税率改正に伴い
地方消費税交付金が増額**
4月から消費税率が8%に引き上げられ、そのうち1.7%分が地方消費税交付金として配分されます。これによる増収分、約1億1100万円はその全額を社会保障費(※扶助費・児童、障害者、高齢者、生活保護関係など)に使います。

歳出予算の概要
歳出予算では、人件費が職員数の減員等により前年度比で約1億2300万円の減額となりました。扶助費は約21億4500万円、前年度比約9.8%の増と見込んでいます。

歳入は市税・地方交付税とも増額
歳入予算では都市計画税の課税区域の見直しによる約2200万円の減額と市税、固定資産税の増額(前年度比約3300万円)を見込んだことにより、市税全体では前年度比で約600万円の増となっています。
また、普通交付税は前年度比8200万円の増を見込みました。

なお、財政調整基金については国からの「地域の元氣臨時交付金」の積立・取崩を別枠とすれば、当初予算ベースで扶助費や特別会計繰出金の伸びによる収支不足を補填するため約8500万円を繰り入れる予定で、平成26年度末では約12億9800万円の残額を見込んでいます。

主な建設事業は、新体育館の建設、北郷小学校校舎整備、市民交流センター改修、北谷地区コミュニティセンター建設等です。
その他に物件費では、消費税率アップによる需用費、委託料の増額、臨時職員の時間単価見直しによる増額、小学校パソコンリース料の増額等により、全体で前年度比約4700万円の増となります。
また、補助費では臨時福祉給付金および子育て世帯臨時特別給付金の給付等で前年度比約1億5000万円の増、特別会計への繰出金は全体で前年度比約3000万円の増となりました。